

CLOSEUP

岩手力!

優良受注企業紹介

株式会社岩本電機



自動加工の設備（写真奥）と、肉眼による品質管理の様子。「数10万本の中に1本でも不良品があれば、お客様の信頼を損ないます。常にゼロを目指して頑張っています」（自動加工課リーダーの松村佑介さん）



端子圧着加工された電線。肉眼による検品で高い品質が維持されている

製品の高い品質と対応力で、
業界大手との安定受注を確保。
「メーカーとしての飛躍」を志に抱き、
時代の環境変化に対応した経営を目指す。

家内工業的に始めた事業

「私たちの会社ほど、産業振興センターさんのさまざまな事業を活用して発展してきたところはないのではないのでしょうか」

岩本電機の岩本明佳社長は、インタビューの冒頭、笑顔で切り出した。

同社の主力製品は、産業機械、家庭電気製品などのハーネス（内部配線部品）だ。複数の電線がコンパクトにまとめられ、電気製品自体の安全性を守るほか、装着の利便性によるスピード化、コストダウンなど多くの利点を発揮する。

同社のスタートは88年だ。知人から「北上の誘致企業が、協力会社を募集している。やってみたらどうだ」と勧められたのがきっかけ。岩本氏は、八戸工業大の電気工学科を卒業していた。その経歴が知人の目にとまったのだろう。

「当時私は、東京の製造会社を退社して帰郷したばかり。小さな子供が二人いて、家族が食べていく必要があった。よし、やっ

てみよう」と

自宅にダンボールが届けられた。ハーネスの部品である。妻と二人で、自宅で作業を始めた。

「まるで内職的な仕事でしたから、夫婦で一カ月頑張っても数万円。これではいかんと思って、仕事量を増やすために親会社に頼み込んで機械を導入してもらった」

設備貸与事業の活用が転機

機械導入で、人も雇わなければならなくなった。岩本夫妻は無我夢中で仕事に打ち込んだ。

91年には有限会社に組織替えし、社名も岩本電機製作所とした。その直後、岩本社長のところ突然、いわて産業振興センター（当時は岩手県中小企業振興公社 以下同じ）のスタッフが飛び込みで訪ねてきた。センターの役割と事業を説明したあとで、会社を発展させていくためのさまざまな情報を提供してくれた。岩本社長は設備貸与の事

洋野町種市の岩本電機（本社洋野町）は、産業機械、家庭電気製品などのハーネス（内部配線部品）の企画・開発・製造を行っている。1988年に夫婦で始めた事業は、20年で従業員50人規模の企業に成長。「メーカーとしての飛躍」を志に抱き、時代の環境変化に対応した経営を目指している。



本社新工場内の様子。ハーネスは、切断から圧着、ハンダ付けまで、一貫した自動化ラインで生産されている。写真奥には関連会社「イワテック電子」のラインも設備されている

業があることを知り、早速申し込んだ。

「最初が両端圧着機の設備貸与（92年度）でした。今は古くなって使えませんが、さまざまな思い出がつまっているので、どうしても捨てられません」

会社は順調に軌道に乗っていった。が、ある時、岩本社長は気付いた。

「もっと会社を伸ばしていくには、経営に関する勉強をしなければいけない」岩本社長は言う。

「そもそも経営をしたくて会社を始めたのではない。食べていくことが優先だった。ですから、経営知識もなければ理念も何もない。このままでは、何かあれば、すぐにつまづいてしまうと思った」



◀電線の自動切断。切断されたあとは、次の圧着やハンダ付けの工程に素早く移っていく



▼平行電線の端子圧着。機械によって一瞬で圧着加工される



◀検品も終わり、発送直前の製品

センターで「経営」を一から勉強

岩本社長は93年、妻の岩本いずみ専務は96年、いわて産業振興センターの経営者大学講座を受講した。

『会社の意義』『誰のために存在しているか』『経営指数』など、経営に関するありとあらゆることを勉強させていただいた。特に、問題意識が創造の原点であり、常識、経験に振り回されず、出来るか出来ないではなく、やるかやらないかが事業家にとって大切なことであるとの教えを受けた

経営理念もつくった。「それまではお取引先と話をしても、自分たちのことを語ることができなかった。しかしそれからは、商談においても自分たちの意見をはっきりと主張できるようになった」。このほかにも、94年から受注企業の紹介・斡旋支援を活用してきた。

「接触を試みてもなかなか門戸を開いてくださらなかった企業が、センターさんの紹介ということで会ってくれた」

同社はその後、99年にイワテック電子を新たに設立。04年に岩本電機製作所から岩本電機に改組し株式会社化、05年に本社新工場完成と歩みを進めてきた。岩本社長は「技術革新と時代要請の中で、時代の環境変化に素早く対応できなければ生き残っていけない。このことを認識して切磋琢磨している」と話している。

企業概要

- 設立 1988年（「マルモトハーネス」）
- 代表者 岩本明佳
- 所在地
〔本社・新工場〕
洋野町種市13地割41番25
電話 0194-65-3930
- 資本金 3,000万円
- 従業員数 55名（関連会社含む）
- 関連会社
（有）イワテック電子、岩本商事、IGS（Iwamoto General System）
- 事業内容
産業機械、通信機器、民生機器のハーネス部品製造及び組立
- 主要取引先
（株）芝浦電子、日本パルスモーター（株）、日本電産コパル（株）、谷村電気精機（株）、国立大学法人東京大学など

URL
<http://www.iwamotodenki.co.jp/>

■活用したいいわて産業振興センターの事業
設備貸与／経営者大学ミドルマネージメント工業コース／受注企業紹介／若手起業家大学に参加／情報化モデル企業育成事業／ISO取得研究会／地域プラットフォーム活動推進事業（商品化可能性調査事業）／自動車関連指導等の研修／工場管理実践塾／成長密着支援事業

今月の表紙／岩本電機の若手社員。入社6年目の菊地直樹さん（左）と3年目の松村佑介さん。岩本社長の母校、八戸工大電気工学科の後輩。「下請け企業からメーカーへの飛躍が、ぼくたちの目標であり夢です」

■岩本明佳社長。1958年、九戸郡洋野町（旧種市町）出身。83年、八戸工業大電気科卒。高校時代は硬式野球部のエースとして活躍、大学では肩を壊したため体育会ソフトボール部に。八戸工業大自治会会長、体育会委員長も務め、リーダーシップを発揮した。「妻の支えがあったからこそ、ここまでこれた」と、学生結婚した専務のいずみ夫人に感謝を忘れない。

